

日本脊椎脊髄病学会プロジェクト委員会
平成23 年度第1 回モニタリングワーキンググループ議事録

プロジェクト委員会担当理事 高橋和久
委員長 松山幸弘

日時：平成23年2月4日午後7時～9時

会場：東京ステーションコンファレンス 4 階「402-A」

出席：松山幸弘委員長、里見和彦、四宮謙一、谷俊一各アドバイザー、
安藤宗治、伊藤全哉、川端茂徳、寒竹司、小林祥、齋藤貴徳、高橋雅人、
谷口慎一郎、藤原靖、山田圭、山本直也、和田簡一郎各委員、
工藤整（弘前大）、村本明生（名大）各オブザーバー

議事録

平成23年3月まで予定の、脊髄腫瘍、脊柱変形、靱帯骨化症例に限って CMAP 施行例の詳細を検討し、アラームポイントの策定

1：途中経過を報告した。

62%の回収率であり、髄外腫瘍41例、髄内腫瘍13例、側彎症60例、頸椎 OPLL 37例、胸椎 OPLL 15例であった。

TP 症例6例で、FP：10例、FN：0例であり、感度100%、特異度93%であった。

また6例の TP 症例について、波形変化の詳細を討論した。

2：術中脊髄モニタリングのハンズオン、セミナーの開催をする。

モニタリング WG 施設で、受講希望者を教育する。

このハンズオンセミナー開催に関して、3月25日に行われる理事会で検討していただく。

具体的には、理事会で認めていただいた後、日本脊椎脊髄病学会として、セミナー受講希望者を募っていただき、WG 施設に割り振りをしてセミナーを受けていただく。WG 施設では実際の手術、モニタリング方法、そして基礎的な講義をしていただく。

3：この WG で収集した症例の個人情報への厳密な管理をお互いに確認し合った。

また今までも個人情報の漏洩がなかった事は会議の中で確認し合い、四宮、里見、谷アドバイザーにも確認を得た。

4：次回会議は追って連絡をする。